

## 編集後記

( 59巻 第4号 2013年4月 )

また新しい年度がスタートした。3月末には共に働いた修練医をはじめとする多くの仲間が教室を去っていった。しかし、4月には新しい仲間が教室ににぎやかさを取り戻してくれる。毎年、繰り返される光景ではあるが、いつになってもこの時期は楽しい。

今年は桜の開花が例年よりも早く、4月1日にはほぼ満開となった。京都の満開の桜を見ながら通勤し、若々しい修練医達の顔をみると、こちらも若返ったような気分になる。教授職の唯一の楽しみである。

( 小川 修 )